

城のある都市復活

福岡城だより

2012.7

JULY

No. 34



二の丸西側 しょうぶ園

連携して相互に 発展しましょう

藤香会副会長 毛屋 嘉明



藤香会は明治二十四年初代福岡市長山中立木氏の尽力で発足しました。一昨年一二〇周年を迎え、菩提寺である崇福寺の黒田家墓所に記念碑を建立し、一六代黒

田家当主長高様をお迎えして除幕式を行いました。毎年、黒田家のご遺徳を顕彰するとともに、古き良きものを後世に継承するために多くの行事を行っています。

また私は、昨年度から中島前理事の後を受けて市民の会理事に就任しましたが、藤香会と福岡市民の会(略称)は相互に協力し合って発展してきております。

理事会で平成二十三年度及び平成二十四年度の事業計画を拝見して、市民の会では理事や会員が一九丸となつて、どんたく舞台、観月の宴、観桜の宴、史跡探訪バスツアー、歴史観光市民大学、福岡城の整備、マップ作成など、発足以来地道に、発展的に事業を継続してこられたことを強く感じました。

また今年には、「福岡城むかし探訪館」が城内に設置され、古地図や再現模型を通じて、福岡城を身近に、楽しく体験できる施設が出来ました。大きな石垣が残る福岡城跡に名城を復活させ、観光客の誘致と回遊性を高め福岡市のランドマークにする第一歩が出来たと喜んでおります。

今年には、「どんたく舞台」もその横の目立つ広場に設営され、五月四日には黒田長高様ご一家をお迎えして、「どんたく松囃子」も古式通りに上の橋から入場し、「一東一本」の儀式も執り行われました。

これからも「藤香会」や「黒田奨学会」など関係団体との連携も密にして、それぞれの役割に応じて運営できれば相互に発展できるものと思っております。

NPO法人 福岡城市民の会 第8回総会開かれる

平成24年6月14日開催の第8回総会に於いて下記の事項が承認されました。

総会報告

開催日時 平成24年6月14日(木)
14時～16時
開催場所 福岡市中央区赤坂1-16-5
読売新聞西部本社1F
よみうりプラザ



審議事項

- 1号議案 平成23年度事業報告に関する件
- 2号議案 平成23年度貸借対照表及び活動計算書に関する件
- 3号議案 平成24年度事業計画に関する件
- 4号議案 平成24年度活動計算書(予算)に関する件

報告事項

平成24年度事業計画及び同活動計算書(予算)の策定後に次の事項が生じたのでその経緯を報告する。

- (1)「福岡城むかし探訪館」について
- (2)建設弘済会の平成24年度公益事業による支援助成事業について
- (3)博多どんたくの実行予算について

5月28日(月)の理事会を経て総会が開催され、無事終了したことを会員の皆様にご報告します。

詳細につきまして質疑事項がございましたら当会へお尋ねください。

【第2号議案、第4号議案の活動計算書】

平成23年度実績及び平成24年度予算

(金額単位:千円)

	23年度実績	24年度予算
収入の部		
会費	2,111	2,300
受取寄付金	17	20
観覧の宴	0	0
どんたく舞台	5,090	2,500
歴史観光市民大学	1,129	1,200
「新たな公」古代官道	37	0
史跡探訪バスツアー	60	150
福岡城散策マップ	22	0
福岡城下町マップ	250	500
受取利息	1	0
雑収入	56	0
合 計	8,773	6,670
支出の部		
観覧の宴	166	200
どんたく舞台	5,447	2,800
観月の宴	0	100
歴史観光市民大学	900	900
福岡城むかし探訪館支援	0	200
機関誌	408	450
史跡探訪バスツアー	0	50
福岡城下町マップ	250	500
小 計	7,171	5,200
管理費	1,344	1,450
予備費	0	0
合 計	8,515	6,650
当期正味財産増加額	258	20
非収益控除額	54	20
控除後の正味財産増加額	204	0

【第1号議案】平成23年度事業報告に関する件

1 事業の成果

観覧の宴は平成22年度は見送り23年度は該当はなかった。観月の宴は、平成22年度と23年度の2年間は開催を見送った。そのほかの研究・啓発事業は例年どおり実施した。

殊に、本年度は建設弘済会の支援事業が加わり福岡城下町マップの一部を完成させた。更に、内閣府・福岡県主管支援の「新しい公共」の場づくりのためのモデル事業の実行委員会を5月11日に設立したが、この事業には当NPOが実行委員会に参加するとともに事務局を担当した。この事業に精力的に取り組み多大の成果を挙げた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の予定数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
イベント開催	どんたく舞台	5月上旬	福岡城跡	50人	市民19,000人	5,447
イベント開催	観月の宴	9月中旬	福岡城跡	50人	中止	0
イベント開催	観覧の宴	3月下旬	福岡城跡	30人	4月開催のため24年度にずれ込み	166
研究・啓発	史跡探訪バスツアー	5回/年	福岡・熊本・宮崎	3×5回	市民40×5回	0
研究・啓発	歴史観光市民大学	6月～11月	よみうりプラザ	5×30回 2×4回	市民100×20回 市民40×4回	900
調査・研究	福岡城の整備に係る事業	適宜、適切に推進する				0
研究・啓発	機関誌発行	4回/年	事務所		3,000部×4回	408
資料制作	福岡城下町マップ作成	平成23年4月	事務所	20人		250

実行委員会事業 (新しい公共支援事業)	福岡城・鴻臚館の将来に向けた市民参加プロジェクト	平成23年9月～24年3月	—	—	—	—
------------------------	--------------------------	---------------	---	---	---	---

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施予定日	実施予定場所	従事者の予定数	支出見込額(千円)
基金活動事業	個人・団体への基金活動	随時	随所	若干名	見込額計上せず

【第3号議案】平成24年度事業計画に関する件

平成24年度には、どんたく舞台、観月の宴及び観覧の宴等イベント事業や、福岡歴史観光市民大学の実施等、従来からの事業に加え、昨年度から当会が事務局になっている「新しい公共」支援事業「福岡城・鴻臚館の将来に向けた市民参加プロジェクト」の2年目事業に、より内容を充実して取り組む。また福岡市が計画している「福岡城むかし探訪館」の受託業務に当会が代表団体となり、構成団体と共同企業体を組み精力的に対応する。

本年度はNPO承認7年目を迎え、心新たに多岐に亘る活動に活発に取り組んでいく。

事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の予定数	受益対象者の範囲及び人数	支出見込額(千円)
イベント開催	どんたく舞台	5月	福岡城跡	50人	10,000人	2,800
イベント開催	観月の宴	10月	福岡城跡	10人	3,000人	100
イベント開催	観覧の宴	25年3月	福岡城跡	10人	5,000人	200
研究・啓発	史跡探訪バスツアー	7回/年	九州管内	3×7回	市民30×7回	50
研究・啓発	福岡歴史観光市民大学講座	6月～11月	よみうりプラザ	4×30回	市民100人×30回	900
研究・啓発	機関誌発行	4回/年	事務所		市民3,000部×4回	450
資料制作	福岡城下町マップ作成	25年3月	事務所	20人	制作部数未定	未定

実行委員会事業 (新しい公共支援事業)	福岡城・鴻臚館の将来に向けた市民参加プロジェクト	年度内	—	未定	未定	内容検討
------------------------	--------------------------	-----	---	----	----	------

※その他、福岡城に係る事業に公的機関等からの依頼を受けた場合は、共催、後援、支援で協力する

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施予定日	実施予定場所	従事者の予定数	支出見込額(千円)	支出見込額(千円)
共同企業体受託事業 (当会が代表団体)	福岡城むかし探訪館	25年3月	福岡城・鴻臚館	未定	未定	未定



福岡歴史観光市民大学
5期生を迎えて

今年で五年目を迎えた一〇四人の受講生は、福岡市に眠る文化遺産、伝統工芸、芸能を中心に先人が遺した貴重な財産を、先生方の豊富な知識、経験に基づきこれらを活用するため、各講座を熱心に受講中であります。居眠り、私語は絶無、質問内容はレベル高く大学で講義中の先生方を感激させる教室風景が続いております。

「当日のみ受講生」も多く参加され、福岡郷土史講座としてのステータスは益々レベルアップしております。先生と、受講生の皆さんの熱意に添えるよう事務局一同も努めて行きたいと考えております。

担当 津田慶一

福岡城探訪

黒田家菩提寺

千代町「崇福寺」

大変に古い禅寺で二つの顔を持つ
禅寺として歴史を有する古刹である。

正式には横嶽山崇福寺と称し、臨
済宗大徳寺派に属する禅寺です。

今から七七〇年前の仁治元年（一
二四〇）、大宰府の横嶽に建立され
たお寺である。

当時の名僧であった随乗房・湛慧
が建て、その翌年の仁治二年には中
国の「宋」から帰って来た弁円（後
の聖一国師）がこの寺を借りて開堂
説法をしている。その時、宋の国の
經山・仏鑑国師から贈られた「勅賜
万年崇福寺」書を掲げお寺を命名さ
れたと記されている。

それ故にその翌年の寛元元年（一
二四三）時の天皇である八十八代後
嵯峨天皇より承天寺（聖一国師建立）
と共に官寺に列せられ、「西都法窟」
の勅額を下賜されたお寺である。

それから歴代有名な名僧に法灯を
つないできたが、天正十四年（一五
八六）島津軍の北上により有名な大
野山岩屋城の激戦で大宰府共々焼失

し荒廃した。

その後慶長五年（一六〇〇）筑前国
守として移封された黒田長政の入国に
よって京都大徳寺第百十一代春屋宗圓
の懇請により現在の千代の松原の地に
崇福寺を移し造営した。更に黒田長政
は寺領三百石に加えて開山堂領をも寄
進した。以来、黒田家歴代の菩提寺の
一つとして位置づけられ、境内奥に黒
田家一門の墓所があり、博多、福岡を
支えた多くの歴史的に有名な方々の墓
所でもある。

※「大宰府」の表記は、古代・中世は「大」、
現在は「太」を使用。



福岡城 むかし探訪館

四月六日に開館しました「福岡城む
かし探訪館」は、早くも開館五十七日
目（六月一日）にして来館者が一万人
を突破することができました。

当館は、福岡城を身近に楽しく体感
できる施設です。ガラス張りの床と古
地図（昔の自分家を探してみません
か？）、精度の高い城と町並みの模型、
わかりやすい城の案内映像、福岡城を
中心とした貴重な書籍など、福岡城を
取り巻く情報を集約した展示になって
います。また、観光案内ボランティア
による解説により、エリアの魅力を伝
え、散策を楽しめるように情報の提供
もおこなっています。一度ご来館をお
待ちしています。



第50回 福岡市民の祭り

博多どんたく 港まつり

福岡城どんたく演舞台報告

今年のどんたくは「福岡城むかし探訪
館」の紹介も兼ねて、この建物の横に舞
台を設置し開催しました。

黒田家第十六代当主長高様ご家族を
お迎えし、上の橋から城内に入ってきた
博多松囃子三福神流れに「祝うたあ」
の儀礼を受け、稚児流れ同様、一束一本
を渡されました。

今年は近くの学校の楽器演奏が何組
も出演し、充実した舞台に多くの観客の
方々が楽しまれました。



会員からのよもやま話

福岡城・鴻臚館「お城めぐり」ガイドを通して感じたこと

会員 下河邊 正生

四年ほど前より「お城めぐり」ガイドの一員として市民の皆様をご案内してきましたが、その中で感じたことを記してみます。

福岡城・鴻臚館は国内でも有数の歴史的文化遺産であることはご承知の通りであります。だが参加された市民の皆様の方が歴史的価値を殆どご存知ではありませんでした。まして一般市民の皆様に於いては尚さらと危惧する次第であります。

また、自分の周りを見回してみても、この歴史的文化遺産に対する認識や関心の度合いは極めて低く無きに等しいと存じます。

だからこそ福岡のランドマークとして、歴史的文化遺産の価値や将来の有るべき姿を標榜し、ランドデザインを描きそれを指し示し、その実現に向けて官民挙げて行動を起こすことが不可欠だと認識いたしております。

しかし、大変厳しい経済財政情勢下一〇〇億円単位の規模の事業が簡単に推進できるとは考えられないのが現状であります。これを可能ならしめる推進力は何といっても一般市民の声とそのバックアップが不可欠です。

その為には、市民を巻き込んだ一大キャンペーンを展開することが急務だと思われれます。そこで市当局に働きかけ比較的費用の掛からない「市政だより」の活用が求められます。年間二十三回・毎号五十万部以上発行されるこの媒体は、講読率が大変高く何にも勝るものと考えられます。毎号一頁位を割いて「福岡城・鴻臚館特集」を一年・二年・三年位の単位での継続した取り組みが、市民の皆様との認識や関心を高めプラン実現の大きな推進力になるのではと存じます。

そして、関心を持った市民の皆様が、数多く福岡城に来訪されるようになれば「むかし探訪館」を足がかりに「お城めぐり」を楽しみ更に認識を高め声を挙げて頂く事になり、プラン実現の大きな後押しになるものと考えられます。

画餅に帰す・机上の空論に終わらせない為にも、我々ガイドが「むかし探訪館」に常駐し、プラン実現の一助となる遣り甲斐のある案内業務に専念出来るようになればと考えております。

福岡城内クリーン作戦

福岡城内のゴミをひろって美しくしませんか！

昨年より動き出した「福岡城・鴻臚館の将来を市民と考える実行委員会」の主催により福岡城内の清掃活動を開始します。

年四回（九月・十二月・三月・六月）の予定ですが、十月に「ゴールデンウィーク・ワールドラグビーフェスティバル福岡大会」で歓迎レセプションが福岡城で開催されるので、おもてなしの意を込めて今回のみ十月も清掃をおこなうことにしました。

日時 九月八日（土曜日）

日時 九月十一日（雨天時中止）

日時 九月十二日（日曜日）

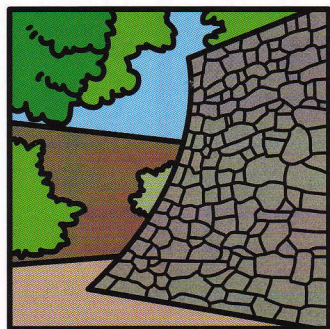
日時 九月十三日（雨天時中止）

集合場所 「福岡城むかし探訪館」前

（鴻臚館と平和台陸上競技場の間）

各自「軍手」をお持ち下さい。清掃活動用具は、主催側で準備します。

お子様から大人まで自由に参加です。多くの方のご参加をお待ちしています。



新規会員名簿（平成24年6月30日現在）

一般会員（個人）

井筒 照雄	下河邊 正生
小川 光男	田吉 愼一
小串 洋子	千綿 滋朗
小澤 憲二	樋口 年明
香月 秀樹	松尾 日浪美
小林 しのぶ	富田 千鶴子
権藤 セチ子	内藤 淑子
志岐 功	

正会員（個人）

伊藤 務 伊藤 紀子

編集後記

今年度の総会は、正会員のみならず一般会員の方々も多数出席され、熱心に議案を確認されていました。

むかし探訪館や福岡城清掃活動など、少しずつ福岡城に目が向けられています。皆様の声を頂きながら、当会も積極的に関わっていきたいと思っています。会員の皆様の更なるご協力よろしくお願い致します。

編集・発行 鴻臚館・福岡城歴史・観光・市民の会

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-12-15 読売福岡ビル7階
TEL 092-716-8238 FAX 092-716-8254
HPアドレス <http://fukuokajokorokan.nngo.jp/>
E-mail fukuokajo@tos.bbq.jp
[デザイン・印刷] 城島印刷株式会社



福岡城市民の会

検索